

患者様ご自身の血液成分を用いた再生治療

自然治癒力を活かし、治癒を目指す

当院整形外科では、膝関節専門医の「飯田 剛」による
膝関節再生医療を開始しました。

APS PRP 療法

皆さん、怪我をしてしまったとき傷にかさぶたがはって傷が治りますよね？

人間にも、もともとこのような「再生する力」があります。これを利用して行うのが再生医療です。

関節の再生医療とは、変形性関節症や外傷で失ってしまった機能を、痛み止めやヒアルロン酸などのいわゆる“化合物”である薬で治療するのではなく、自分の血液、脂肪等の“自分由来の組織”を使用して修復を目指す医療のことです。

再生医療には軟骨を培養して移植する“自家軟骨培養移植”、脂肪から幹細胞を採取して移植する“脂肪幹細胞移植”、血液より損傷した組織を修復する役目のある血小板を濃縮した PRP 液を精製し移植する“PRP 療法”の大きく3種類があります。いずれも厚生局の認可が必要な治療であり、当院では血液からの PRP 療法を行なっております。

血液の中には、傷を治す働きを持つ「血小板」という成分があります。この血小板を高濃度に凝縮し活性化させたものが、PRP：Platelet-Rich Plasma（多血小板血漿）です。PRP には抗炎症サイトカインや成長因子などの組織修復因子を多量に含むため、傷んだ組織に対し炎症の鎮静化や疼痛緩和、組織修復を期待することができます。

APS とは自己タンパク質溶液、Autologous Protein Solution の略称で、この PRP に特別な加工を加えることで、膝関節症の治療に有効といわれる成分を高濃度に抽出するため、次世代 PRP とも呼ばれています。

APS 療法は、ご自身の血液から抽出された APS を膝関節内に投与し、関節内の炎症バランスを整えて炎症・痛みを改善することにより、軟骨破壊の抑制が期待され、人の本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出し、傷んだ関節軟骨・靭帯などの治癒をうながすと考えられています。自分の血液を使用するので、拒絶反応、副作用がなく安全性が非常に高い治療です。関節の変形自体こそ直すことは出来ませんが、手術を行うことなく、関節の炎症や関節痛の大幅な軽減が期待できる治療法です。採血当日に APS 作成を行い、治療できますので入院の必要はありません。【保険適応外（自費診療）】

*APS のメカニズム

私達の身体の中には、炎症を抑える抗炎症性サイトカインという良いタンパク質と、炎症性サイトカインという悪いタンパク質が存在します。良いタンパク質は悪いタンパク質の働きをブロックし、軟骨破壊に傾きがちな関節内のバランス改善に関係します。

APS は、炎症を抑える良いタンパク質と軟骨の健康を守る成長因子を、患者さんご自身の血液から高濃度抽出した溶液です。

APS 療法は、悪いタンパク質が過剰に存在する関節内に、良いタンパク質が豊富な APS を投与し、炎症バランスを改善することで痛みを軽減し、軟骨の変性や破壊を抑えようとする治療です。

欧州での臨床試験では、中程度までの変形性膝関節症において 1 回の注いで最大 24 ヶ月間に渡って痛みと機能改善が継続したと報告されています。

安全性について

作製は医療機器として治療に使用すること（安全性）が厚生労働省より認められた医療機器（ZIMMER BIOMET 製 APS キット）を使用します。患者様ご自身の血液を用いるため、免疫反応の起きる可能性は極めて低いと考えられます。

APS 療法は欧州ではすでに治療法として承認されており、米国では複数の医療機関において臨床試験が行われ、有効性の確認が進んでいます。

採血と注射のみで終わるため、患者様の体への負担も少なく済みます。

治療効果や効果の持続期間には個人差があります。

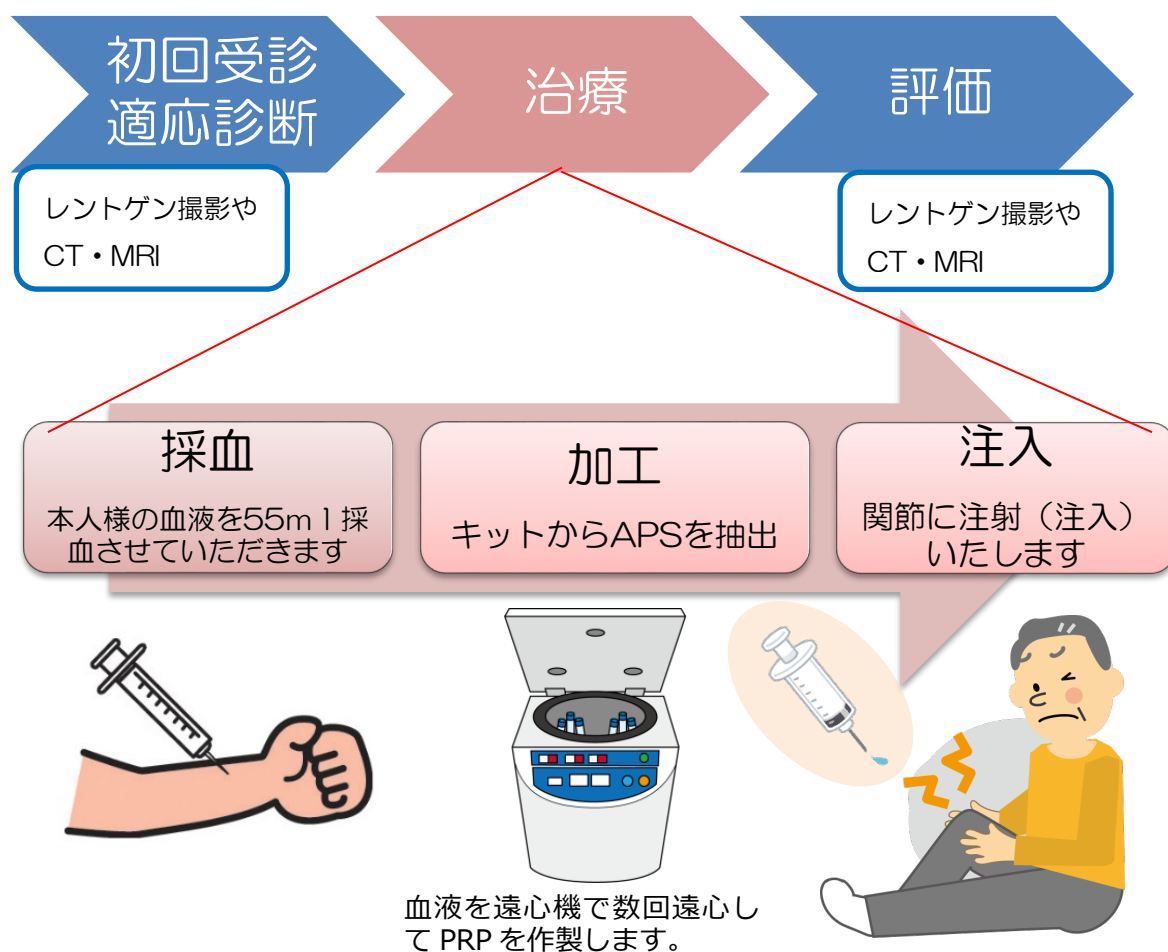
再生医療が受けられる医療機関検索サイトはこちら

⇒関節ライフ (https://kansetsu-life.com/saisei/6_04.html)



治療の流れ

治療は日帰りで行われます。麻酔も必要ありません。



費用

*本治療は保険適用外であるため、治療にかかる費用全額を患者さん自身にご負担いただきます。

350,000 円（税抜）

※お支払いは、現金またはお振込みにて承ります。